令和6（2024）年度
医学部コンピテンシーに基づくマイルストーン表

領域	コンピテンシー		レベルC	レベルB	レベルA （卒業時）
1.プロフェッショナリズム	「至誠一貫」の精神に基づき、患者ならびに家族に対して、常に真心・誠意を持って接することができる	ア	学生生活や学修の中で、「至誠一貫」の精神に基づき、患者ならびに家族に対して、真心・誠意を持って接する意義や必要性を説明できる	臨床実習現場で、「至誠一貫」の精神に基づき、患者ならびに家族に対して、真心・誠意を持って接することができる	臨床現場で、「至誠一貫」の精神に基づき、患者ならびに家族に対して、常に真心・誠意を持って接することができる
1.プロフェッショナリズム	医療人としての倫理観に則って行動できる	イ	学生生活や学修の中で、医療人としての倫理観に則って行動できる	臨床実習現場で、医療人としての倫理観に則って行動できる	臨床現場で、医療人としての倫理観に則って行動できる
1.プロフェッショナリズム	医療を実践するための法律やルールを遵守することができる	ウ	学生生活や学修の中で、医療を実践するための法律やルールを遵守することができる	臨床実習現場で、医療を実践するための法律やルールを遵守することができる	臨床現場で、医療を実践するための法律やルールを遵守することができる
1.プロフェッショナリズム	医師としての責務を自覚し、説明責任を果たすことができる	エ	学生生活や学修の中で、医師としての責務を自覚し、説明責任について概説できる	臨床実習現場で、医師としての責務を自覚し、説明責任を果たすことができる	臨床現場で、医師としての責務を自覚し、説明責任を果たすことができる
1.プロフェッショナリズム	医師として、利他の心をもって行動することができる	オ	学生生活や学修の中で、利他の心をもって行動することができる	臨床実習現場で、医師として、利他の心をもって行動することができる	臨床現場で、医師として、利他の心をもって行動することができる
2.コミュニケーション能力	至誠一貫の精神に基づいて、広く良好な人間関係を構築することができる	ア	学生生活や学修の中で、広く良好な人間関係を構築することができる	臨床実習現場で、広く良好な人間関係を構築することができる	臨床現場で、広く良好な人間関係を構築することができる
2.コミュニケーション能力	至誠一貫の精神に基づいて、相手の話を傾聴し、共感の態度をもって接することができる	イ	学生生活や学修の中で、相手の話を傾聴し、共感の態度をもって接することができる	臨床実習現場で、相手の話を傾聴し、共感の態度をもって接することができる	臨床現場で、相手の話を傾聴し、共感の態度をもって接することができる
2.コミュニケーション能力	自分の考えをわかりやすく言語や態度で正確に伝えることができる	ウ	学生生活や学修の中で、自分の考えをわかりやすく言語や態度で正確に伝えることができる	臨床実習現場で、自分の考えをわかりやすく言語や態度で正確に伝えることができる	臨床現場で、自分の考えをわかりやすく言語や態度で正確に伝えることでき
2.コミュニケーション能力	情報の収集と提供を適切に行うことができる	エ	学生生活や学修の中で、情報の収集と提供を適切に行うことができる	臨床実習現場で、情報の収集と提供を適切に行うことができる	臨床現場で、情報の収集と提供を適切に行うことができる
3.医師としての専門的実践能力	①患者本位の医療を実践できる	ア	医療面接で患者の訴えや背景を聴取できる。	医療面接で患者の訴えや背景を聴取し、医療の選択肢を提示できる。	医療面接で患者の訴えや背景を聴取して、医療の選択肢を説明し、同意を得た上で実践できる。
3.医師としての専門的実践能力	②基礎医学の幅広い知識を有し、臨床（診療）に応用できる	イ	基礎医学の幅広い知識を習得し、臨床との関連を説明できる。	基礎医学の知識を、臨床での病態理解に結びつけることができる。	臨床診療の中で基礎医学的知識を応用して疾患を理解し、診療・治療に実践できる。
3.医師としての専門的実践能力	③臨床医学の知識を有し、的確に医療を実践できる	ウ	臨床医学の基本的知識を有し説明できる。	臨床医学の知識を有し、病態生理を説明できる。	臨床医学の知識を基に、的確に診療できる
3.医師としての専門的実践能力	④診断に必要な診察を行い、検査計画を立て、それを実践できる	エ	模擬患者に対して、医療面接とバイタルサインを取ることができる。必要な検査を説明できる。	診断に必要な診察技能を修得し、検査計画を組み立てることができる。	診断に必要な診察を行い、検査計画を立て、それを実践できる。
3.医師としての専門的実践能力	⑤医学的根拠（エビデンス）に基づいた適切な治療法を立案し、実践できる	オ	医学的根拠（エビデンス）とは何か理解し、調べることができる。	医学的根拠（エビデンス）に基づいた治療を提案できる。	医学的根拠（エビデンス）に基づいた適切な治療法を立案し、実践できる。
3.医師としての専門的実践能力	⑥医療安全と感染対策を念頭においた医療を提供できる	カ	安全・安心な医療を理解し、配慮できる。	医療安全について説明し、模擬的な環境で実践できる	医療安全を念頭に置きながら、医療を提供できる
		キ	基本的な感染症を理解し、標準的な感染予防策ができる。	医療安全の視点から、感染症について理解し、予防対策を実践できる。	基本的な感染予防対策を実践し、発生時の初期対応を説明できる。
3.医師としての専門的実践能力	⑦社会医学の幅広い知識を有し、公共の福祉に寄与できる	ク	社会と医療の関係を説明できる。	社会医学の幅広い知識を説明できる。	社会医学の幅広い知識を有し、公共の福祉への寄与について提案・説明できる。
4.チーム医療	多職種の職能を理解して、チーム医療の中で医師としての責務を実践できる （リーダーシップ）	ア	医療に関連したどのような職種があるかを列挙できる。	多職種の基本的な職能と活動を列挙できる。	医療現場での多職種の職能と多様な活動を列挙できる。
		イ	他学部（歯学部、薬学部、保健医療学部）の学生とともに討議し、課題を解決できる。	症例の問題点の解決に向けて他学部の学生とともに討議し、治療・ケアを提案・合意できる。	患者の治療・ケアについて、医療者間で討議し、チームの一員として問題解決に向けてリーダーシップを発揮できる。
4.チーム医療	チーム医療の意義を理解し、患者本位の医療を協働して実践できる （メンバーシップ）	ウ	課題に関連する情報を収集し、他学部に伝達・共有できる。	患者に関する基本的な情報を収集し、学生間で伝達・共有し、患者の背景、病態、治療について討議できる。	患者に関する情報を収集し、医療者間で伝達・共有し、患者の背景、病態、治療について討議できる。
		エ	他学部の学生と連携し、高齢者などとコミュニケーションを図り、置かれた状況や心理を把握できる。	診察の場面で、他学部の学生とも連携して、患者とコミュニケーションを図り、患者の置かれた状況や心理を把握できる。	診察やインフォームドコンセントの実施などで、医療者間で連携して、患者や家族とコミュニケーションを図り、患者の置かれた状況や心理を把握し、患者に適切に対応できる。
		オ	他学部の学生と連携・協力し、基本的な処置・ケアを観察・体験できる。	他学部の学生とも連携・協力し、基本的な治療・処置・ケアを観察・実践できる。	医療者間で協働し、治療・処置・ケアをチームの一員として実践できる。
		カ			チーム医療が、患者に有益であったか互いに振り返ることができる。
5.地域・社会への貢献	地域社会における住民の健康の回復・維持・向上に貢献できる	ア	地域社会における住民の健康の回復・維持・向上の必要性を説明できる	地域社会における住民の健康の回復・維持・向上の問題点と解決策を列挙できる	臨床現場で、地域社会における住民の健康の回復・維持・向上に貢献できる
5.地域・社会への貢献	地域医療に従事し、地域医療連携を実践する	イ	地域医療および地域医療連携について説明できる	地域医療および地域医療連携について問題点と解決策を列挙できる	臨床現場で、地域医療に従事し、地域医療連携を実践する
5.地域・社会への貢献	社会活動（ボランティア活動など）に参画する	ウ	社会活動（ボランティア活動など）について説明できる	社会活動（ボランティア活動など）について問題点と解決策を列挙できる	社会活動（ボランティア活動など）に参画する

| 学年 | M2 | M2 | M2

令和6（2024）年度
医学部コンピテンシーに基づくマイルストーン表

領域	コンピテンシー		レベルC	レベルB	レベルA （卒業時）
6.自己研鑽	最新の知識や技能を生涯にわたって獲得する意欲と態度を保持する	ア	科学的検索ツールを利用して、論理的、批判的に問題を解決するプロセスを説明できる	論理的、批判的に問題を解決する能力を身につけるとともに、最新の知見や技能を生涯にわたって獲得する意欲と態度を示せる	論理的、批判的に問題を解決する能力を身につけるとともに、最新の知見や技能を生涯にわたって獲得する意欲と態度を示せる
6.自己研鑽	医学の発展に貢献するため、科学的探究心を持って医学研究に参画する	イ	科学的検索ツールを利用して、自然科学領域における自らの興味・関心をもとに、関連領域の情報を収集し説明できる	基礎・臨床・社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報に対して論理的、批判的な指摘ができる	基礎・臨床・社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を論理的、批判的に評価する姿勢を有し、未知の病態や治療への興味・関心を学術的手法に基づき発表できる
7.国際性	Communication： Speaking and listening ・**海外の患者**と適切に英語で応対してコミュニケーションをとることができ、患者の状態について討議することができる。	ア	・基本的な医学的専門用語を交えて医療・健康(common disease)に関する説明や会話を学生同士でできる。	・様々な医学領域の専門用語を理解し、海外の患者と英語でコミュニケーションをとることに意欲を示す事ができる。	・患者と医療面接を英語で行い、医療面接や検査結果から患者の状態を上級医に英語で報告し、診断のプロセスを患者に説明することができる。
	・**海外の医療者**と積極的にコミュニケーションをとることができ、英語で医学的事項を聞き取り、表現して討議できる。	イ	・学生同士で英語で自己紹介を行い、医学のどの分野に興味があるか伝え、一般的な医療に関する用語(病名や症候)を会話の中で使用することができる。	・症例報告や医学学術論文の内容を要領よくまとめて学生や教員に伝え、お互いに内容を討議することができる。	・自ら経験した症例を症例報告の形で英語で表現したり、自身が考察した医学的事項について医療者間で討議することができる。
7.国際性	International medical standard: Reading and writing ・**海外の患者**の状態を英語で書かれた診療録から理解することができ、また英語で記述し、診察することができる。	ウ	・患者向けの一般的な健康や疾患に関する記述を理解できる。	・様々な医学領域の専門用語(症候・疾患名)を理解し、それらを用いて患者の状態を記述できる。	・自身が担当した患者の状態を診療録に英語で記載し、その症例に関して学会発表のためのスライドを作成したり論文を作成したりすることができる。
	・**海外の医療者**と自分が考察した医学的理論を海外の医学論文を適切に検索・引用しながら英語で表現して伝えることができる。	エ	・医学文献(総説・原著論文・症例報告)について体裁や記載順序(academic writing)を理解し、平易な文章で記述できる。	・医学英語論文を検索して自身が必要とする適切な文献を見つけ出し、その内容を理解してまとめることができる。	・自身の医学研究や担当した症例に関して学会発表のためのスライドを作成したり論文を作成したりすることができる。
7.国際性	Globalization ・国際的な視点で医学界を俯瞰し、海外研修などで自身の意見を世界に発信することができ、また海外からの医療人を積極的に支援できる。	オ	・一般的な国際的コミュニケーションと国際的なヒューマニティの概念、健康と福祉に関するSDGsを理解し、国際保健、国際医療協力はどのように行われているか理解できる。	・世界の医療の現場や医学研究の現状について理解し、海外研修プログラムに参加する意欲を持つことができる。また、海外からの医学研究の留学生や患者と日本語でも英語でも意思疎通を図ることができる。	・海外研修を通して世界の最先端の学術会議に出席して自身の研究結果や症例などについて自身の意見を述べ、海外の研究者と討議することができる。また、海外研修などを通して国際医療協力を実践できる。
8.アイデンティティ	昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。	ア	建学の精神（至誠一貫）を理解し、様々な境遇にある他者の心情を推しはかり、医学生としての日常に活かすことができる。	建学の精神（至誠一貫）に則り、医療人に必要な倫理性と教養、知識と技能の修得に真心をもって全力を尽くす。	建学の精神（至誠一貫）に則り、高い教養と健全な良識と優秀な技能とを兼ね備え、もって社会の文化と公共の福祉に貢献する。

| 学年 | M2 | M2 | M2

令和6（2024）年度
医学部コンピテンシーに基づくマイルストーン表

領域	コンピテンシー		レベルC	レベルB	レベルA（卒業時）	学年	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M3	M4	M4	M4	M4	M4	M4	M4	M4	M4	M4	M4	M4	M4 M5	M5	M5	M5	M5	M5	M6	M6
						ユニット（科目）名	膠原病／血液／感染症系の病態・診断・治療	消化器／肝胆膵系の病態・診断・治療	神経系の病態・診断・治療	医学英語ⅢA	行動医学・プロフェッショナリズムⅢA	地域医療実習	尿路・男性生殖器系の病態・診断・治療	糖尿病・代謝・内分泌系の病態・診断・治療	皮膚・運動器系の病態・診断・治療	女性医療系の病態・診断・治療	精神医療系の病態・診断・治療	小児系の病態・診断・治療	医学英語ⅢB	行動医学・プロフェッショナリズムⅢB	学部連携高齢者コミュニケーション・在宅医療支援演習	学部連携ＰＢＬⅡ	臨床実習Ⅳ B（全診療科実習）	感覚器系の病態・診断・治療	麻酔・救急・集中治療系の病態・診断・治療	腫瘍・緩和医療系の病態・診断・治療	社会医学	医学英語ⅣA	行動医学・プロフェッショナリズムⅣA	在宅チーム医療と倫理ＴＢＬⅢ	学部連携ＰＢＬⅢ	基本的診察技法・治療実習	臨床実習Ⅳ C（全診療科実習）	臨床医学英語A	行動医学・プロフェッショナリズムⅣB	臨床実習Ⅴ A（診療参加型臨床実習）	臨床医学英語B	公衆衛生ゼミナール	行動医学・プロフェッショナリズムⅤ	学部連携病棟実習	臨床実習Ⅴ - B（診療参加型臨床実習）	診療参加型臨床実習	集中講義
1.プロフェッショナリズム	「至誠一貫」の精神に基づき、患者ならびに家族に対して、常に真心・誠意を持って接することができる	ア	学生生活や学修の中で、「至誠一貫」の精神に基づき、患者ならびに家族に対して、真心・誠意を持って接する意義や必要性を説明できる	臨床実習現場で、「至誠一貫」の精神に基づき、患者ならびに家族に対して、真心・誠意を持って接することができる	臨床現場で、「至誠一貫」の精神に基づき、患者ならびに家族に対して、常に真心・誠意を持って接することができる		B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	A	
1.プロフェッショナリズム	医療人としての倫理観に則って行動できる	イ	学生生活や学修の中で、医療人としての倫理観に則って行動できる	臨床実習現場で、医療人としての倫理観に則って行動できる	臨床現場で、医療人としての倫理観に則って行動できる		B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	A	
1.プロフェッショナリズム	医療を実践するための法律やルールを遵守することができる	ウ	学生生活や学修の中で、医療を実践するための法律やルールを遵守することができる	臨床実習現場で、医療を実践するための法律やルールを遵守することができる	臨床現場で、医療を実践するための法律やルールを遵守することができる		B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	A	
1.プロフェッショナリズム	医師としての責務を自覚し、説明責任を果たすことができる	エ	学生生活や学修の中で、医師としての責務を自覚し、説明責任について概説できる	臨床実習現場で、医師としての責務を自覚し、説明責任を果たすことができる	臨床現場で、医師としての責務を自覚し、説明責任を果たすことができる		B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	C	C	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	A	
1.プロフェッショナリズム	医師として、利他の心をもって行動することができる	オ	学生生活や学修の中で、利他の心をもって行動することができる	臨床実習現場で、医師として、利他の心をもって行動することができる	臨床現場で、医師として、利他の心をもって行動することができる		B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	A	
2.コミュニケーション能力	至誠一貫の精神に基づいて、広く良好な人間関係を構築することができる	ア	学生生活や学修の中で、広く良好な人間関係を構築することができる	臨床実習現場で、広く良好な人間関係を構築することができる	臨床現場で、広く良好な人間関係を構築することができる		B	B	B	C	B	B	C	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B		C	C	B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	A	
2.コミュニケーション能力	至誠一貫の精神に基づいて、相手の話を傾聴し、共感の態度をもって接することができる	イ	学生生活や学修の中で、相手の話を傾聴し、共感の態度をもって接することができる	臨床実習現場で、相手の話を傾聴し、共感の態度をもって接することができる	臨床現場で、相手の話を傾聴し、共感の態度をもって接することができる		B	B	B	C	B	B	C	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	C	C	B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	A	
2.コミュニケーション能力	自分の考えをわかりやすく言語や態度で正確に伝えることができる	ウ	学生生活や学修の中で、自分の考えをわかりやすく言語や態度で正確に伝えることができる	臨床実習現場で、自分の考えをわかりやすく言語や態度で正確に伝えることができる	臨床現場で、自分の考えをわかりやすく言語や態度で正確に伝えることできる		B	B	B	C	B	B	C	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	C	C	B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	A	
2.コミュニケーション能力	情報の収集と提供を適切に行うことができる	エ	学生生活や学修の中で、情報の収集と提供を適切に行うことができる	臨床実習現場で、情報の収集と提供を適切に行うことができる	臨床現場で、情報の収集と提供を適切に行うことができる		B	B	B	C	B	B	C	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B		B	C	B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	A	
3.医師としての専門的実践能力	①患者本位の医療を実践できる	ア	医療面接で患者の訴えや背景を聴取できる。	医療面接で患者の訴えや背景を聴取し、医療の選択肢を提示できる。	医療面接で患者の訴えや背景を聴取して、医療の選択肢を説明し、同意を得た上で実践できる。		B	B	B	C		B		B	B		B	B	C		B	C	B	B	B	B		C		B	B	B	B	B	B	A	B		A	A	A	A	A
3.医師としての専門的実践能力	②基礎医学の幅広い知識を有し、臨床（診療）に応用できる	イ	基礎医学の幅広い知識を習得し、臨床との関連を説明できる。	基礎医学の知識を、臨床での病態理解に結びつけることができる。	臨床診療の中で基礎医学的知識を応用して疾患を理解し、診療・治療に実践できる。		B	B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	B			C	B	B	B	B		C	B	B	B	B	B	B	A	B		A	A	A	A	A
3.医師としての専門的実践能力	③臨床医学の知識を有し、的確に医療を実践できる	ウ	臨床医学の基本的知識を有し説明できる。	臨床医学の知識を有し、病態生理を説明できる。	臨床医学の知識を基に、的確に診療できる		B	B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	B			C	B	B	B	B		C	B	B	B	B	B	B	A	B		A	A	A	A	A
3.医師としての専門的実践能力	④診断に必要な診察を行い、検査計画を立て、それを実践できる	エ	模擬患者に対して、医療面接とバイタルサインを取ることができる。必要な検査を説明できる。	診断に必要な診察技能を修得し、検査計画を組み立てることができる。	診断に必要な診察を行い、検査計画を立て、それを実践できる。		B	B	B			B		B	B		B	B			C		B	B	B	B					B	B		B	A			A	A	A	A	A
3.医師としての専門的実践能力	⑤医学的根拠（エビデンス）に基づいた適切な治療法を立案し、実践できる	オ	医学的根拠（エビデンス）とは何か理解し、調べることができる。	医学的根拠（エビデンス）に基づいた治療を提案できる。	医学的根拠（エビデンス）に基づいた適切な治療法を立案し、実践できる。		B	B	B	C		B	C	B	B	C	B	B	C			B	B	B	B	B	B	C	C		B	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	A
3.医師としての専門的実践能力	⑥医療安全と感染対策を念頭においた医療を提供できる	カ	安全・安心な医療を理解し、配慮できる。	医療安全について説明し、模擬的な環境で実践できる	医療安全を念頭に置きながら、医療を提供できる		B	B	B			B		B	B		B	B			B		B	B	B		B			C		B	B		B	A			A	A	A	A	A
		キ	基本的な感染症を理解し、標準的な感染予防策ができる。	医療安全の視点から、感染症について理解し、予防対策を実践できる。	基本的な感染予防対策を実践し、発生時の初期対応を説明できる。		B	B	B			B		B	B		B	B			B		B	B	B		B					B	B		B	A			A	A	A	A	A
3.医師としての専門的実践能力	⑦社会医学の幅広い知識を有し、公共の福祉に寄与できる	ク	社会と医療の関係を説明できる。	社会医学の幅広い知識を説明できる。	社会医学の幅広い知識を有し、公共の福祉への寄与について提案・説明できる。		B	B	B			B		B	B		B	B			B	B	B		B		B			B	B	B	B	B		A	B	A	A	A	A	A	
4.チーム医療	多職種の職能を理解して、チーム医療の中で医師としての責務を実践できる（リーダーシップ）	ア	医療に関連したどのような職種があるかを列挙できる。	多職種の基本的な職能と活動を列挙できる。	医療現場での多職種の職能と多様な活動を列挙できる。		B	B	B			B		B	B		B	B			B	B	B		B	B	B			B	B	B	B		B	A			A	A	A	A	
		イ	他学部（歯学部、薬学部、保健医療学部）の学生とともに討議し、課題を解決できる。	症例の問題点の解決に向けて他学部の学生とともに討議し、治療・ケアを提案・合意できる。	患者の治療・ケアについて、医療者間で討議し、チームの一員として問題解決に向けてリーダーシップを発揮できる。			B	B			B		B	B		B	B			B	B	B		B	B	B			B	B	B	B		B	A			A	A	A	A	
4.チーム医療	チーム医療の意義を理解し、患者本位の医療を協働して実践できる（メンバーシップ）	ウ	課題に関連する情報を収集し、他学部に伝達・共有できる。	患者に関する基本的な情報を収集し、学生間で伝達・共有し、患者の背景、病態、治療について討議できる。	患者に関する情報を収集し、医療者間で伝達・共有し、患者の背景、病態、治療について討議できる。		B	B	B			B		B	B		B	B				B	B		B		B					B	B	B	B		B	A			A	A	A	A	
		エ	他学部の学生と連携し、高齢者などとコミュニケーションを図り、置かれた状況や心理を把握できる。	診察の場面で、他学部の学生とも連携して、患者とコミュニケーションを図り、患者の置かれた状況や心理を把握できる。	診察やインフォームドコンセントの実施などで、医療者間で連携して、患者や家族とコミュニケーションを図り、患者の置かれた状況や心理を把握し、患者に適切に対応できる。			B	B			B		B	B		B	B				B	B		B		B					B	B	B	B		B	A			A	A	A	A	
		オ	他学部の学生と連携・協力し、基本的な処置・ケアを観察・体験できる。	他学部の学生とも連携・協力し、基本的な治療・処置・ケアを観察・実践できる。	医療者間で協働し、治療・処置・ケアをチームの一員として実践できる。			B	B			B		B	B		B	B				B			B		B						B	B		B	A			A	A	A	A	
		カ			チーム医療が、患者に有益であったか互いに振り返ることができる。			B				B		B	B		B	B				B			B		B						B	B			A			A	A	A	A	
5.地域・社会への貢献	地域社会における住民の健康の回復・維持・向上に貢献できる	ア	地域社会における住民の健康の回復・維持・向上の必要性を説明できる	地域社会における住民の健康の回復・維持・向上の問題点と解決策を列挙できる	臨床現場で、地域社会における住民の健康の回復・維持・向上に貢献できる		B	B	A			B		B	B		B	B			B	B	B		B					B	B					A				A	A	A	
5.地域・社会への貢献	地域医療に従事し、地域医療連携を実践する	イ	地域医療および地域医療連携について説明できる	地域医療および地域医療連携について問題点と解決策を列挙できる	臨床現場で、地域医療に従事し、地域医療連携を実践する		B	B	A			B		B	B		B	B			B	B	B		B					B	B					A				A	A	A	
5.地域・社会への貢献	社会活動（ボランティア活動など）に参画する	ウ	社会活動（ボランティア活動など）について説明できる	社会活動（ボランティア活動など）について問題点と解決策を列挙できる	社会活動（ボランティア活動など）に参画する			B	A			B		B	B		B					B			B										A				A	A	A	

令和6（2024）年度
医学部コンピテンシーに基づくマイルストーン表

領域	コンピテンシー		レベルC	レベルB	レベルA （卒業時）
6.自己研鑽	最新の知識や技能を生涯にわたって獲得する意欲と態度を保持する	ア	科学的検索ツールを利用して、論理的、批判的に問題を解決するプロセスを説明できる	論理的、批判的に問題を解決する能力を身につけるとともに、最新の知見や技能を生涯にわたって獲得する意欲と態度を示せる	論理的、批判的に問題を解決する能力を身につけるとともに、最新の知見や技能を生涯にわたって獲得する意欲と態度を示せる
6.自己研鑽	医学の発展に貢献するため、科学的探究心を持って医学研究に参画する	イ	科学的検索ツールを利用して、自然科学領域における自らの興味・関心をもとに、関連領域の情報を収集し説明できる	基礎・臨床・社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報に対して論理的、批判的な指摘ができる	基礎・臨床・社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を論理的、批判的に評価する姿勢を有し、未知の病態や治療への興味・関心を学術的手法に基づき発表できる
7.国際性	Communication： Speaking and listening ・**海外の患者**と適切に英語で応対してコミュニケーションをとることができ、患者の状態について討議することができる。	ア	・基本的な医学的専門用語を交えて医療・健康(common disease)に関する説明や会話を学生同士でできる。	・様々な医学領域の専門用語を理解し、海外の患者と英語でコミュニケーションをとることに意欲を示す事ができる。	・患者と医療面接を英語で行い、医療面接や検査結果から患者の状態を上級医に英語で報告し、診断のプロセスを患者に説明することができる。
	・**海外の医療者**と積極的にコミュニケーションをとることができ、英語で医学的事項を聞き取り、表現して討議できる。	イ	・学生同士で英語で自己紹介を行い、医学のどの分野に興味があるか伝え、一般的な医療に関する用語(病名や症候)を会話の中で使用することができる。	・症例報告や医学学術論文の内容を要領よくまとめて学生や教員に伝え、お互いに内容を討議することができる。	・自ら経験した症例を症例報告の形で英語で表現したり、自身が考察した医学的事項について医療者間で討議することができる。
7.国際性	International medical standard: Reading and writing ・**海外の患者**の状態を英語で書かれた診療録から理解することができ、また英語で記述し、診察することができる。	ウ	・患者向けの一般的な健康や疾患に関する記述を理解できる。	・様々な医学領域の専門用語(症候・疾患名)を理解し、それらを用いて患者の状態を記述できる。	・自身が担当した患者の状態を診療録に英語で記載し、その症例に関して学会発表のためのスライドを作成したり論文を作成したりすることができる。
7.国際性	・**海外の医療者**と自分が考察した医学的理論を海外の医学論文を適切に検索・引用しながら英語で表現して伝えることができる。	エ	・医学文献(総説・原著論文・症例報告)について体裁や記載順序(academic writing)を理解し、平易な文章で記述できる。	・医学英語論文を検索して自身が必要とする適切な文献を見つけ出し、その内容を理解してまとめることができる。	・自身の医学研究や担当した症例に関して学会発表のためのスライドを作成したり論文を作成したりすることができる。
7.国際性	Globalization ・国際的な視点で医学界を俯瞰し、海外研修などで自身の意見を世界に発信することができ、また海外からの医療人を積極的に支援できる。	オ	・一般的な国際的コミュニケーションと国際的なヒューマニティの概念、健康と福祉に関するSDGsを理解し、国際保健、国際医療協力はどのように行われているか理解できる。	・世界の医療の現場や医学研究の現状について理解し、海外研修プログラムに参加する意欲を持つことができる。また、海外からの医学研究の留学生や患者と日本語でも英語でも意思疎通を図ることができる。	・海外研修を通して世界の最先端の学術会議に出席して自身の研究結果や症例などについて自身の意見を述べ、海外の研究者と討議することができる。また、海外研修などを通して国際医療協力を実践できる。
8.アイデンティティ	昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。	ア	建学の精神（至誠一貫）を理解し、様々な境遇にある他者の心情を推しはかり、医学生としての日常に活かすことができる。	建学の精神（至誠一貫）に則り、医療人に必要な倫理性と教養、知識と技能の修得に真心をもって全力を尽くす。	建学の精神（至誠一貫）に則り、高い教養と健全な良識と優秀な技能とを兼ね備え、もって社会の文化と公共の福祉に貢献する。

| 学年 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M3 | M4 | M4 | M4